

(様式2)

平成15年度施策評価総括表

分野別計画名	文化振興計画			
政策目標	沖縄文化の源を確認できる環境づくり			
施策名	平成15年度		平成17年度	
	評価	評価の説明 (理由、課題等)	施策展開内容	方針
(1) 歴史資料の編集と活用	A	『歴代宝案』及び『新沖縄県史』の編集・刊行は、各々刊行計画に基づき事業を実施しており、達成度・貢献度は高いが、一部計画通りに発刊できない状況があるため、刊行計画や作業計画の見直しが必要となっている。	『歴代宝案』及び『新沖縄県史』の編集・刊行は、各々刊行計画に基づき事業を実施できるよう、計画に従った事業を行う。	現状維持
評価の内訳				
事務事業の総合評価	4			
県関与の必要性	2			
分野別計画どおりの施策展開への取り組み	1			
成果指標の達成状況	3			
(2) 文化財保護・活用の推進	B	文化財の指定・保存に関する調査や保存修理事業等を実施するとともに、指定文化財の管理を行うなど貢献度は高いが、一部十分に達成されていない事業がある。	文化財の指定・保存に関する調査や保存修理事業等を実施するとともに、新たな文化財の指定や登録文化財の指定推進を図り、あわせて指定文化財の管理を行う。	現状維持
評価の内訳				
事務事業の総合評価	3			
県関与の必要性	2			
分野別計画どおりの施策展開への取り組み	1			
成果指標の達成状況	3			
(3) 伝統的な技能・技術・生活文化の伝承	B	九州民俗芸能大会への民俗芸能派遣、伝統文化の保存継承事業、無形文化財伝承者養成事業等の推進、銃砲刀剣の登録推進を実施した。	引き続き、九州民俗芸能大会への民俗芸能派遣、伝統文化の保存継承事業、無形文化財伝承者養成事業等の推進、銃砲刀剣の登録推進を支援し、一部の伝承者養成事業に努める。	現状維持
評価の内訳				
事務事業の総合評価	3			
県関与の必要性	2			
分野別計画どおりの施策展開への取り組み	1			
成果指標の達成状況	3			
(4) 歴史と伝統文化を発信する施設・空間づくり	A	17箇所(史跡・名勝)において、発掘調査を基にして城壁等の復元整備を実施したほか、排水計画など管理のための事業を実施した。ほぼ計画どおりに実施でき、歴史的空間の広がりが図れた。	グスクを中心とした保存・整備事業を、発掘調査成果を基に整備委員会で検討、文化庁との調整等により推進する。 歴史的空間の観光資源としての活用も注目されており、周辺整備事業との整合性を図りながら、事業を展開していく。	現状維持
評価の内訳				
事務事業の総合評価	4			
県関与の必要性	2			
分野別計画どおりの施策展開への取り組み	1			
成果指標の達成状況	4			